

島前高校だより



島前地域の魅力を〈人〉ととらえ、『つながり』をキーワードに高校生が企画から運営まで行う世界に一つだけの物語、第3回ヒトツナギを8月2日から6日にかけて4泊5日の日程で行いました。

舞台は夏の島前三島。参加者は全国から集まってきた中高生15名。迎える高校生スタッフは、昨年の経験をもとにチームを引っ張る2年生4名と、この春新たに加わった個性豊かな1年生8名の計12

名。1年生の半数以上は昨年

のヒトツナギに参加して島前高への入学を決めた島外生です。それぞれが熱い想いをもって集まったものの、それをどう表現したらよいか分からずになかなかチームとしてまとまらなかつたり、想いを具現化する企画が作れずに悩んだり、直前まで準備に追われていました。

そして迎えた本番、別府港へ降り立った参加者は一様に期待と不安で緊張した様子でしたが、共通点探しやキンニヤモニヤ教室を通じて少しずつ打ち解けていきました。



2日目の午前中は指令探検で島前地域内を歩き回り、午後からは竹工作と流しそうめん大会、その後3日目にかけて西ノ島町のお盆の伝統行事で使われるシャーラ船づくりのお手伝いと、参加者とスタッフ、そして島の方々とのつながりをつくるプログラムが続きしました。

そして地元の民家で1泊ホームステイをさせていただき、帰ってきたときには「楽しかった〜！」と満面の笑顔。初日とはまるで別の顔でした。最後の夜にはこれまでお世話になった方々をお招きして「だんだんパーティー」を開催し、感謝の気持ちを伝えました。

旅立ちの朝、菱浦港では乗船時間ギリギリまで写真を撮ったり寄せ書きをしたりと、仲間たちと共に過ごせる時間を惜しむ姿が見られました。各地へ帰る島外参加者を紙テープで見送ったあと、島内からの参加者も帰路につきました。

こうして無事にヒトツナギ

が実施できたのも、たくさんの方々のご支援があったからです。参加者はみな島前が大好きになってくれましたし、スタッフも短期間でずいぶん成長してくれました。関わってくださった全ての方に感謝します。本当にありがとうございました。

(島前高校魅力化プロジェクト

浜板健二)



《参加者・スタッフの感想》

・ヒトツナギはたくさんの方々とつながりを持てるし、また新たな島前のよさとかも発見できるのでもって魅力的だと思います。今回初めて参加して、たくさんの方々と交流できたし

思い出もできたのでよかったです。また機会があれば参加したいです。(島内参加者)

・ほとんどの人が初めて会う人だったけど、こうして打ち解けて仲良くなれたのは、一人一人の気持ちが前を向いていたからだと思います。それに、スタッフさん、地域の人たちが支えてくれていたからだと思います。この自然豊かな隠岐で、ヒトツナギをしてとてもよかったです。機会があれば、またヒトツナギに参加したいです。本当にありがとうございました。(島外参加者)

・このヒトツナギを行うにあたって様々な事があり、色々な人のお陰でヒトツナギを無事終える事が出来ました。島前外の中高生、島前の中高生、島前地域の方々、スタッフ、お互い見た事もないような人達同士なのに、このヒトツナギで温かいつながりが生まれる事に感動しました。ヒトツナギでスタッフをやっていた、本当に良かったです。(高校生スタッフ)